

## 事業所における自己評価結果表

公表： 2023年 10月

事業所名：放課後等デイサービス マルコ

6名対象 回収率 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			
	2	職員の配置数は適切であるか	6			・利用人数に対して職員の人数は基準を満たしているが、特性・プログラムの内容によっては職員の人数を増やすなど考慮していききたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	1	・玄関前は緩やかな坂になっており、施設内も段差がない作りになっている。・トイレが男女一緒になっているので待ってもらう事が多々ある。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	2	2	・職員全体が会議等に参加出来るよう、時間帯・申し送りをこまめに行うなど考慮し行っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・頂いたご意見を参考に業務の内容の検討・見直しを行っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・年に1回、法人のホームページに結果を掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・コロナ禍で、外部研修は少ないが、事業所内で勉強会を開催している。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	3	・時差出勤の為、チーム全体が集まったの立案は難しいが、方向性・統一した支援を行っていけるよう、プログラム作成時にもっと意見を出し合える用工夫して行きたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	3		・曜日によりご利用者が異なるため、活動が重ならないように工夫している。・子供の姿・季節・経験して欲しいことを考えプログラムを組み立てている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		・きめ細やかな課題は設定できていないが、日々の様子など振り返りを行い、情報共有し、より良い支援へと繋げていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	1	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	2	1	・時差出勤があるので、ボードにその日の流れやノートに申し送り事項を記載し確認できるようにしている。定期的にミーティングを行い、気づきを共有・支援内容や役割分担等必要に応じて確認するなど務めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	2	・支援終了後に必ずしも打ち合わせや振り返り等は行えていないが、必要な情報は職員で連絡ノート等に記載したり、情報の共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		1	・個人の記録はあるが、療育・保育の時間の中から見えてくる反省・振り返り等検証が出来ていない。今後は改善に繋がるよう記録の仕方等検討していく必要がある。

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・半年に1回見直しを行っている。毎月支援会議を開催し計画を検討している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			・必要に応じ行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			・必要があれば情報提供等行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6			・必要があれば情報提供等行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	3	・感染拡大を防ぐために交流の機会を持ってない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6			
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・送迎時に自宅での様子を聞いたり、事業所での様子を伝えるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1		5	・ペアレントトレーニングは出来ていない。研修等があれば参加し、支援にと繋げていきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・必要な助言と支援のためのスキル向上を図っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			・年に1回保護者会を開催しているが、参加者も少なく、保護者会の内容等、今後は見直し検討していく必要あり。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・毎月マルコ新聞を発行し、子ども達の様子や連絡等発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	4	・感染拡大の面から、今現在行事（餅つき等）はすべて中止・見合わせ中である。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1	・訓練は定期的実施している。職員間では周知できているが、保護者には周知しきれていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		・定期的実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		・年に1回虐待防止についての会議・研修を開催している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6		・身体拘束を必要とする子どもはいないが、対象とする子どもの利用がある場合は、事前の確認や説明等行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	・アレルギー等に関して契約時に確認しているが、現時点では医師の指示書に基づく対応が必要なお子さんがいない。おやつ作りの際は都度保護者に確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		・不適合サービス管理表を作成し共有している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。